



家庭と地域との心の架け橋を目指し、

R5.10月号

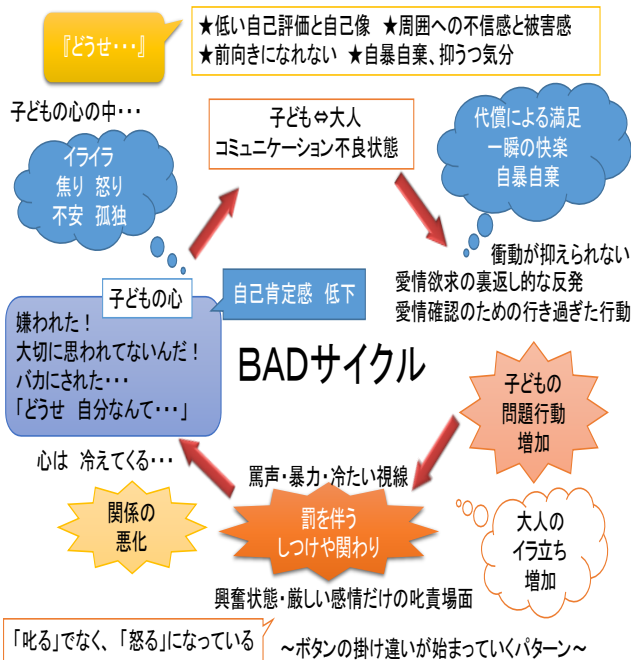
子どもとの関わり方の一助となれる言葉を発信していきます

～ 問題行動が増えない ひと工夫 ～

二学期、運動会も終わりました。いよいよ“ふつうの毎日”です。

この当たり前の日常をいかに、効果的に活用するかが、実はポイントです。

子どもの問題行動がエスカレートするパターン



わたしたちは、問題が起こってから子どもに関りがちです。

また、ほめることが大事だと思い、ほめるような行動ができるまで待つてくださるかもしれません。しかし、なかなかほめる行動は見受けられません、そのうちに問題が勃発します。

ほめるよりも「怒る」場面が増えてきます。そして、心のどこかで“せっかく、ほめてあげたかったのに…” “また、ギスギスしてきたわ” …そんな Bad サイクルになりがちです。

【感情的に怒るではなく、冷静に叱ることができるように】

私たちにできることは、ほめる前に「認める」

です。自尊心が下がっていると物ごとの捉え方が、ネガティブになりやすいです。私たちがポジティブに声をかけても素直に受け取ってもらえないこともあります。たまに、大きくほめるより、こまめに小さく認める方が、じんわり、じんわり承認メッセージが届きます。見てみて行動！（かまってほしい時に、わざと怒られるようなことをする）を、子どもがする前に、大人がサラッとさわやかに、小さく認める頻度を増やす！

子どもが当たり前に行っていること

「○○（こどもの行動を描写するように）ね（承認メッセージ）！」

まんざらでもないこと 続けていること 少しの成長をしっかりと

「言語化」します。

気にかけて声をかけてもらえないと…問題を起こして、気を引きたくくなります。

先手の子育て この秋 アップデートです！！

